

「毎日が研究」気づきが自分を成長させるマイクロスコープ

米 可那

樋口歯科医院勤務

『昨日の自分よりも成長したい！』できない！と決めつけるよりも、できるように考え行動することが常に自分を成長させると考え、日々診療に励んでいる。

当医院では、2017年10月より**Microscope**を導入することになった。

実機が来るまでの間にできる事はないかと**Microscope**があると想定し、ミラーテクニックを意識して日々の診療を行った。排唾管を使用し、左手にミラーを持つことで、一方向からの情報+手指感覚に頼っていた自分の手技に反省。あらゆる方向からミラーで情報を取り入れること、また、拡大することにより確かな情報をつかむことができることと実感し、**Microscope**は単純に拡大する機械ではなく、ミラーによっても範囲の拡大ができていたことに気づいた。最初は誰にも教えてもらわず、自己流で使用していた。しかし、外部講師に教えていただくことをきっかけに、基本を忠実にと「姿勢」、「脇を締めること」、「固定」、「グリップ」をとにかく意識して診療を行うようになった。教えていただいたことがすぐには理解できていない部分もあったが、教えていただいたことをとにかく守って診療することで理解できるようになってきた。その後も講義を受けたりセミナーに参加してきたが、**Microscope**を使いこなすにはとにかく練習！！自分が楽に正確に治療が行えるように研究することが大切だと感じる。私は、自分の診療室を持ち、いつでも**Microscope**を使用できる贅沢な環境にいる。

医院によっては、**Microscope**が一台しかない、Dr. が使用しているから使えないことも多いと思う。今回は練習方法を含め、どのようなことを理解すると使えるようになるかを考え発表する。

【略歴】

2004年 九州歯科大学附属歯科衛生士学院 卒業

2016年 樋口歯科医院 入職

2018年 日本顕微鏡歯科学会 認定歯科衛生士 取得